

2021年度 第4回 防災委員会 議事録

開催日時：2022年4月23日（土） 14:00～16:55

開催場所：商工会議所 B1-1A 号室及びWEB（Zoom）併用会議

会場参加者：味澤泰夫・有村研一・石本俊亮・中田敦也・西井康浩・松本義信・持田拓児（7名）

Web参加者：荒川直樹・緒方正隆・箴島秀利・寺田利博・南嶋佳典・中村勲・園田直志（長崎県支部）

津山輝男（熊本県支部）・松川浩一（宮崎県支部）・樗木秀人（鹿児島県支部）（10名）

欠席者：池田圭一・梅田和久・岡田裕彰・香月裕宣・北里憲章・田辺努・久富浩明・宮本修・八百屋さやか・江口友弘（10名）

1. 防災委員による発表会と質疑応答

講師：中田 敦也 様 「【令和3年8月豪雨】六角川被害状況調査、
【令和3年8月出水】球磨川沿川出水状況調査」

【発表内容】

1. 六角川被害状況調査

- ・六角川・牛津川沿川の洪水痕跡の状況についての説明
- ・令和元年、2年に引き続いて、令和3年も浸水被害が発生し、ほぼ同程度に冠水していた。
- ・度重なる浸水被害に対する、武雄河川事務所での取り組み（ハード対策+ソフト対策）

2. 球磨川沿川出水状況調査

- ・河川護岸、橋梁の被災状況報告（水衝部や蛇行部での被害）
- ・河道の応急復旧状況、橋梁仮復旧状況についての報告
- ・支川川内川の河道埋塞と周辺家屋の被災状況についての報告
- ・球磨川緊急治水プロジェクト（ハード+ソフト対策）についての報告

【質疑応答】

Q（樗木氏）：六角川は感潮河川ということだが、河道掘削の効果はあるのでしょうか。

A（中田氏）：河川改修での対応は難しく、遊水池の確保を進めている。

Q（樗木氏）：複数回浸水被害を受けているが、移転などは考えられていないのでしょうか。

A（中田氏）：現時点で、情報はつかんでいません。

Q（味澤氏）：重ねるハザードマップなどの情報が出ているが、被害の実態はどうなっていますか。

A（中田氏）：想定とほぼ同じです。

Q（味澤氏）：荒川では、堤防を嵩上げするとともに、低平地を遊水池化しているが、六角川ではどうでしょう。

A（中田氏）：六角川では、堤防嵩上げより河道の拡幅を計画するとともに、遊水池の候補を検討されています。

Q（西井氏）：河道の直線化や霞堤などの計画は、適用できますか。

A（石本氏）：感潮区間が長いので直線化では、河道容量を減らすことになり、適用は難しいと思います。霞堤については、遊水池の計画と合わせて検討することになると思います。

Q（西井氏）：球磨川の落橋については、橋脚の向きに問題がありそうです。流れに対して斜めに入っているのでは、偏流が生じアップリフトの力がかかっているのではないかと。

A（中田氏）：洗掘もあり、橋脚が傾いたと思います。

2. 前回の議事録確認

- ・前回の議事録で修正点がないか確認した。
- ・修正がないため、事務局に依頼し、九州本部のホームページにアップすることを依頼する。

3. 各 WG について

1) WG 1 : 「災害リサーチチーム」の報告 (南嶋氏)

- ・対象が広範囲になるので、まずは、WG 3の活動が進んでいる遠賀川流域を対象として、メンバーで担当自治体を定めて、災害の情報を取りまとめる。
- ・具体的な地域に対する情報の公表は、WG 2の活動と連携して行う。
- ・今年度の活動成果をまとめて報告しました。

2) WG 2 : 「災害リスク管理チーム」の報告 (石本氏)

- ・アンケート調査に関するWGの活動報告があった。
- ・地域防災マップ作成の手引きに関する中間報告があった。

3) WG 3 : 「災害サポートチーム」の報告 (持田氏)

- ・昨年度の活動に関して、時系列で報告が行われた。
- ・今年度、4年生については、前年度資料をベースに講義を実施する予定。
- ・5年生については、地域のリスクを知ると言う事で、WG 2、WG 1が中心で活動してはどうか。
- ・地形情報などに加えて、避難判断のツール(災害時に提供される情報など)についても、紹介してはどうか。(味澤氏)。
- ・5年生、6年生に向けての作業方針(内容、時期など)は、委員長とWGリーダー3名で検討することにしたい。(持田氏)
- ・直方市の活動は、技術士会でも注目されているので、しっかりと対応しましょう。(西井氏)

4. その他報告・連絡事項

●災害時支援活動計画

- ・H22.9に初版が策定され、その後H29.8にプラットフォームを設置することとした。
- ・大規模災害にうまく機能できないこともあり、新たに改定作業を進めている。
- ・令和4年5月に新たなものが公表されます。

Q (樗木氏) : 防災支援委員会と防災委員会の違いは何ですか。

A (持田氏) : 防災支援委員会は、統括本部の防災委員会と考えてもらって良いです。

Q (西井氏) : 震度6弱以上で判断するようになってきているが、頻度が高い様に思う。

A (持田氏) : そう思いますが、都度都度判断するという事になっています。

●防災支援委員会会議報告

- ・防災支援委員会構成に関する説明。
- ・年間活動計画の報告。

●2022 年度防災委員会活動計画

- ・新たに緒方正隆氏が委員として入られました。
- ・防災委員会等の活動報告
- ・防災委員の発表予定報告
- ・技術士だよりへの寄稿について

Q（西井氏）：防災委員による発表ですが、外部講師は呼べないでしょうか。

A（持田氏）：CPDのあり方を含め、検討します。

Q（西井氏）：技術士だよりの寄稿は、委員の持ち回りでも良いのではないかと。内容も、活動報告ではなく、個人の防災論でも良いのではないかと。

A（味澤氏）：他の委員会では、委員会の活動報告だけでなく、委員個人の思いを報告したことがある。

A（持田氏）：リーダーで決めたいと思います。

Q（石本氏）：WG3の活動を、西日本大会へ報告してみてもどうか。

A（持田氏）：検討してみます。

●次回の運営委員会

- ・令和4年7月30日（土）14時～17時 開催を予定（商工会議所とWeb併用の開催）

議事録作成者：石本（2022年4月25日）